第２のＣのｌのＮ－エチル－Ｎ－（１－メチルエチル）－２－プロパンアミンの目の次に次の１目を加える。

N－エチル－*N*－（１－メチルエチル）－２－プロパンアミン　$C_8H_{19}N$　本品は，無色又はわずかにうすい黄色の澄明な液体である。

含量　95.0％以上

密度　0.750～0.760

定量法　本品１μlにつき，次の操作条件でガスクロマトグラフィーを行う。各々のピーク面積を測定し，面積百分率法により主ピークの量を求める。

操作条件

検出器　熱伝導度検出器

カラム　内径0.53mm，長さ15mのフューズドシリカ管の内面にガスクロマトグラフィー用ジメチルポリシロキサンを1.5μmの厚さで被覆したもの。

カラム温度　50℃で注入し，毎分10℃で150℃まで昇温する。

注入口温度　200℃

検出器温度　250℃

注入方式　スプリット（120：１）

キャリヤーガス　ヘリウム

流量　５ml／分

測定時間　15分

第２のＣのｌの塩酸試液（２ｍｏｌ／Ｌ）の目の次に次の１目を加える。

塩酸試液（１mol／Ｌ）　塩酸90mlを量り，水を加えて1,000mlとする。

第２のＣのｌの強塩基性陰イオン交換樹脂の目の次に次の１目を加える。

強塩基性陰イオン交換樹脂，液体クロマトグラフィー用　液体クロマトグラフィー用に製造したもの。

第２のＣのｌのサラシ粉の目の次に次の１目を加える。

サリチルアルダジン　$C_{14}H_{12}N_2O_2$

融点　213～219℃

純度試験　本品0.09ｇを量り，トルエンに溶かし，正確に100mlとし，この液１mlを正確に量り，トルエンを加えて正確に100mlとする。この液10μlを量り，「ポリビニルピロリドン」の純度試験⑹を準用し，試験を行うとき，一つのスポット以外にスポットを認めない。

第２のＣのｌの酸化第二水銀（黄色の目の次に次の１目を加える。

酸化チタン（Ⅳ）　TiO_2　〔Ｋ8703〕

第２のＣのｌのラウリル硫酸ナトリウム試液の目の次に次の１目を加える。

ジチオスレイトール　$C_4H_{10}O_2S_2$　本品は，結晶である。

融点　42～43℃

第２のＣのｌのジブチルヒドロキシトルエンの目を次のように改める。

ジブチルヒドロキシトルエン　$C_{15}H_{24}O$　本品は，白～微黄色の結晶，粉末又は粒状である。

含量　98.0％以上

確認試験　本品を赤外吸収スペクトル測定法中の臭化カリウム錠剤法により測定するとき，波数2,960cm^{-1}，1,430cm^{-1}，1,360cm^{-1}，1,230cm^{-1}，1,150cm^{-1}，1,120cm^{-1}，1,030cm^{-1}，880cm^{-1}，870cm^{-1}，770cm^{-1}及び580cm^{-1}付近に吸収帯を認める。

融点　69～72℃

溶状　ほとんど澄明（１ｇ，エタノール（99.5）20ml）

定量法　本品１ｇを量り，アセトンを加えて10mlとし，検液とする。検液１μlを量り，次の操作条件でガスクロマトグラフィーを行う。各々のピーク面積を測定し，面積百分率法により主ピークの量を求める。ただし，面積測定範囲は，主ピークの保持時間の３倍までとする。別に空試験を行い補正する。

操作条件

検出器　水素炎イオン化検出器

カラム　内径0.25mm，長さ約30mのフューズドシリカ管の内面にガスクロマトグラフィー用ジメチルポリシロキサンを0.25μmの厚さで被覆したもの。

カラム温度　190℃

注入口温度　240℃

検出器温度　250℃

注入方式　スプリット（100：１）

キャリヤーガス　ヘリウム

流量　1.33ml／分

第２のＣのｌのジメチルポリオキシムの目の次に次の１目を加える。

ジメチルシリル化シリカゲル，薄層クロマトグラフィー用（蛍光剤入り）　薄層クロマトグラフィー用に製造したジメチルシリル化シリカゲルに蛍光剤を添加したものを用いる。

第２のＣのｌの弱酸性陽イオン交換樹脂（微粒）の目の次に次の１目を加える。

弱酸性陽イオン交換樹脂，液体クロマトグラフィー用　液体クロマトグラフィー用に製造したもの。

第２のＣのｌの定量用アンヒドロンスルホンの目の次に次の１目を加える。

定量用アドバンテーム　アドバンテーム，定量用を見よ。

第２のＣのｌのテトラヒドロフランの目の次に次の１目を加える。

テトラヒドロフラン（ＢＨＴ含有）　〔Ｋ9705〕　ジブチルヒドロキシトルエン（ＢＨＴ）を0.025％含有するものを用いる。

第２のＣのｌの二クロム酸カリウム（標準試薬）の目の次に次の二目を加える。

β－ニコチンアミドアデニンジヌクレオチド　$C_{21}H_{27}N_7O_{14}P_2$　〔β－ＮＡＤ$^+$，Ｋ9802〕

β－ニコチンアミドアデニンジヌクレオチド試液　β－ニコチンアミドアデニンジヌクレオチド0.04ｇを水10mlに溶かす。用時調製する。

第２のＣのｌの薄層クロマトグラフィー用パラオキシ安息香酸の目の次に次の１目を加える。

薄層クロマトグラフィー用ジメチルシリル化シリカゲル（蛍光剤入り）　ジメチルシリル化シリカゲル，薄層クロマトグラフィー用（蛍光剤入り）を見よ。

第２のＣのｌの非水滴定用酢酸第二水銀試液の目の次に次の１目を加える。

Ｌ－ヒスチジン　$C_6H_9N_3O_2$　本品は白色の結晶又は粉末である。

含量　本品は，Ｌ－ヒスチジン98.0％以上を含む。

純度試験　比旋光度　$[\alpha]_D^{20}$＝＋12.0～＋13.0°（１ｇ，塩酸，10ml）

定量法　本品約0.15ｇを精密に量り，ギ酸２mlに溶かし，酢酸50mlを加え，0.1mol／Ｌ過塩素酸液で滴定する。終点の確認は，通例，電位差計を用いる。別に空試験を行い補正する。

0.1mol／Ｌ過塩素酸液１ml＝15.52mg　$C_6H_9N_3O_2$

第２のＣのｌのヒドロキシルアミン試液の目の次に次の１目を加える。

１－ビニル－２－ピロリドン　C_6H_9NO　本品は，澄明の液体である。

純度試験　本品0.5μlにつき，次の操作条件でガスクロマトグラフィーを行う。各々のピーク面積を測定し，面積百分率法により１－ビニル－２－ピロリドンの量を求めるとき，99.0％以上である。ただし，検出感度は本品0.5μlから得た１－ビニル－２－ピロリドンのピーク高さがフルスケールの約70％になるように調整する。

操作条件

検出器　水素炎イオン化検出器

カラム　内径0.53mm，長さ30mのケイ酸ガラス製の細管にガスクロマトグラフィー用ポリエチレングリコールを1.0μmの厚さで被覆したもの。

カラム温度　80℃で１分間保持し，その後毎分10℃で昇温し，190℃に到達後20分間保持する。

注入口温度　190℃

キャリヤーガス　ヘリウム

流量　１－ビニル－２－ピロリドンのピークが約15分後に現れるように調整する。